

平成 30 年度

第 2 回 南伊豆町総合教育会議議事録

日 時 平成 31 年 1 月 21 日 (月) 13 時 30 分から 14 時 50 分

場 所 南伊豆町役場 3 階 会議室

出席者 町 長 岡 部 克 仁
教 育 長 佐 野 薫
教育長職務代理者 下 村 和 雄
委 員 白 井 善 吾
委 員 萩 原 利 恵 子
委 員 井 上 誠 也

説明出席者 事 務 局 長 大 野 孝 行
学 校 教 育 係 長 白 井 秀 治

傍聴者 伊豆新聞社 勝田記者
静岡新聞社 杉山記者

1 開 会

事務局長 開会宣言、議長は町長が務める旨述べ、進行を議長に依頼する。

2 議 事

岡部議長 挨拶及び議事録署名人について、教育長及び議長が務めることを述べ
議事に入る。

議事(1)平成 31 年度当初予算重点施策及び予算要求の概要について
事務局の説明を求める。

事務局長 資料に基づき、学校教育部門について白井係長から説明させる旨を述
べる。

白井係長 学校教育関係予算重点施策について説明

① 賀茂地域校務支援事務共同化事業について

- ② 幼児教育アドバイザー共同設置事業負担金について
- ③ 南中小学校グラウンド改修事業について
- ④ 小学生定期券購入費補助対象者の拡充について（現状は片道4 km以上の通学距離がある児童の定期券購入について全額補助しているが、これを2 km以上の児童で申請のあった者に拡充する。）
- ⑤ 南伊豆中学校屋内運動場照明等耐震化工事について
- ⑥ 指導主事共同設置事業特別会計について

事務局長 社会教育関係予算重点施策について説明

- ① 図書館業務の蔵書検索システムの更新について

岡部議長 事務局から重点施策について説明があった。

南中小のグラウンド改修については、国の補助金交付はまだ確定してはいないが、何としてもやらなければならないと考えている。

幼児教育アドバイザーは広域連携の中で進めているわけだが、各市町で温度差があり、当町では力を入れたい事業であるため、多めの予算をつけている。

小学生の通学費についても冬場になるとまだ暗いうちから子供たちが歩いている。道も狭い。事故が起きる前に対処したいと考えた。

皆さんから御意見、御質問があればお願いしたい。

白井委員 （定期券購入費補助の拡充地域となる）湊の一部とはどこのことか。

白井係長 逢ヶ浜である。

岡部議長 一條で通学距離が2 km以上（拡充対象ではあるが、バス路線がないため補助対象外。）の児童は何人くらいいるのか。

白井係長 学校からは2～3人いると聞いているが、徒歩通学ではないようである。

下村委員 南上地区で言えば、交通事故が気になる。狭い道路でカーブが多い見通しが悪いという状況の中で、今は子供が集団で歩ける状況になっているからいいが、下校時間の関係等でバラバラに歩くことになったとき、特に1・2年生が一人で歩くという状況になったとき、対象範囲が拡充されることはいいこと。

岡部議長 交通事故以外でも変なことが起きてもいいけない。

- 白井委員 当町では、高校生にも通学補助をしているのに小学生にも対応してほしいという考えが保護者にもあると思う。
やった方がいい。
- 下村委員 南上地区において上小野地区はバスでは無理であるし、歩くにしても歩く場所があまりよくない。保護者の通勤方向とも違う。様々な面で難しい地域。
- 岡部議長 他の町村では生活に不便な場所は公共交通機関がない。また、あっても不便なところは地域で車を出して公共交通の代わりをやっている。
当町でもそういうことができないか検討していきたい。
- 白井委員 三島市では社会福祉協議会がそのようなことをやっている。
- 岡部議長 他には御意見は。
- 下村委員 図書館費の中で、その他の項目の予算が多いがこれは図書の購入費か。
- 事務局長 民間事業者への運營業務委託料が大半である。
- 白井係長 この書式に書ききれないものはその他として計上してある。
- 岡部議長 では、次の案件に移る。
議事（２）中学校統合に係るアンケートについて事務局に説明を求める。
- 事務局長 資料に基づき、生徒数の現状、生徒数の今後の推移について説明。
町民意見の吸い上げとして予備アンケートのイメージで実施したい。
- 佐野教育長 近隣市町で計画的に統合の動きが始まってきた。西伊豆町では校舎の建て替えと共に２段階での統合を進めていく方向。河津町においては３小学校を１小学校にしようとする計画、東伊豆町は稲取小中、熱川小中での小中一貫型の教育をしていきたいということで計画を作りたいと、下田市においては４中学を１中学に統合するプランが動き出している。南伊豆はという話がいつも出てきている。現在、賀茂地区で一番小さい中学は稲梓中学で生徒数は５２人。南東中にしてもしばらくはそれよりは多い数で推移していく。南伊豆中にしてはまだまだ３桁をキープしていける状況ではある。では、何を根拠にとなった場合、授業がやりにくくなったら統合すべき時期と考えている。そういう計画の一環としてア

ンケートから始めていこうかというもの。

アンケートの中身については、白井係長から説明させる。

白井委員 一般人には何人以下になると学校運営がやりにくくなるという数字を出してやればわかりやすいのでは。

佐野教育長 資料にはないが、男女比のバランスが南伊豆については悪い状況である。極端に男子が多い学年、女子が多い学年が多くみられる。

白井委員 町民にわかりやすい説明ができるようにしないといけない。

白井係長 アンケート内容について説明
・アンケート項目
・対象者
・実施時期

白井委員 問11の①（統合は、保護者、地域自らの話し合いで決めるべきである。）を進めると収拾がつかなくなるのではないか。

白井係長 その点も含めてニーズ調査をするものである。

白井委員 ②（統合は行政の計画（関係者の意見を聞きながら）を進めるべきである。）である程度進めて行った方がよいのでは。

佐野教育長 当町で考えなければならないのは輸送の経費と時間。

白井係長 前回の総合教育会議で説明したが、どちらの学校も現行のバス路線でやってやれないことはない。

例えば、現在、南伊豆中に通う三坂地区の生徒は前原橋で下車し徒歩で学校まで通っている。そのケースとバスが直通で日野バス停（おかだ前のバス停）まで行きそこで降りて歩くのでは実際にはそれの方が便利と考えている保護者もいるかもしれない。その辺も含めて意見の吸い上げを行いたい。

白井委員 それの方が雨にも濡れない。現状では距離もかなり歩く。

岡部議長 なかには歩くのが楽しい子もいる。

白井係長 このアンケートがキックオフとなって来年から作業に入りやすくなれ

ば良いと考えている。

岡部議長 新年度の町の方針としても、この案件にも取り組んでいくということ
を施政方針で盛り込むつもり。

どんなに早くても4年以上はかかるので、その先に統合を見据えて動
き出しているところを町民にも理解してもらえればよいと考えている。

そういう動き出しをするということでご理解願いたい。

下村委員 問6について、「多人数教育」という言葉が相応しいか。「部活動」が
大きな問題なのか。その他に（ ）を追加し理由を記してもらっては。

佐野教育長 最初のアンケートなので回答しやすいよう簡易にした。

井上委員 南伊豆では、保護者も含めて部活への思い入れが深い。設問として入
れておいてもよいのではないか。

佐野教育長 選択式の設問であるから回答してくれるということはある。記載式の
アンケートはなかなか記載してくれない。

白井係長 できれば7～8割の回答が欲しい。

佐野教育長 回収率を上げる意味でも答えやすいアンケートのほうが良いと思う。

萩原委員 統合が何年後ということを決まっていれば多岐の質問があってもいい
が最初は○を付けるくらいの方が良いと思う。

下村委員 問9（人数減により現在の部活が維持できなくなった場合）について
も部活動面がクローズアップされすぎているのではないか。

白井係長 南伊豆においては、部活に対する保護者の関心が高い。

岡部議長 確かに熱心である。

萩原委員 地域的に進学する高校が限られてきているので、それほど学力のことは
重視していないのかもしれない。

白井係長 問10（どちらの学校へ統合するか）について、単純に南伊豆中学校区
の方が人数が多いので、南伊豆中学校ということになることは予想されるが、
そもそものアンケートの目的は統合についての意識を諮りたいと

いうところである。

岡部議長

アンケートはいつごろ実施するか。

白井係長

本日の会議で出た意見を踏まえ、事務局にて協議し今年度内には実施したい。

下村委員

問11関連で、今後のスケジュールについてはどのように考えているのか。下田のように〇〇年に統合すると表明し、その後統合に関する協議会を立ち上げ具体的に詰めていくのか。

白井係長

当町にも学校統合審議会がある。統合が決まったら統合準備委員会を設置するということもある。学校設置者は町長であるので町長の意向を聞きながら進めることになる。地域・保護者の話し合いで0から考えていきましょうではなかなか前に進まないことが懸念される。行政としてはこう考えるが、地域、保護者の皆さんどうでしょうかという形でいかなければならないと考えている。

下村委員

そのような考えの中で、このアンケートから入るのでは、またここからと思うのではないか。

岡部議長

保護者心理としては、下田は動き出しているし、南伊豆はいつかなと、ある程度感じていると思う。一番の課題は通学費用だと思う。制服にしても地域・保護者で0から始めるのではなかなかまとまらない。ある程度の行政主導もありだと思える。とにかく一度やってみたい。

事務局長

どれだけ民意を吸い上げられるか、その頻度、深さを探りたいというのが問11の真意。

ある程度の行政主導は仕方ないのではないか。

下村委員

小学校の統合と中学校の統合では地域、保護者の考え方が違う。南上小の統合審議結果とは違ってくるのではないかと思う。

事務局長

町内全域に関わることでもあるし、それ故にどんな考えを持っているのか民意を吸い上げたい。アンケート結果を見たうえで、今後の進め方等は柔軟に対応していきたい。

下村委員

地域の人の考えと保護者の考えとは違うと思う。

- 佐野教育長 実際、南上小の統合審議の際はかなりの違いがあった。
- 事務局長 最初の取り掛かりということで、文言等を修正し今年度中にアンケートを実施したいと思う。
- 岡部議長 他に検討事項はあるか。
無ければ議事を終了する。
進行を事務局へ返す。
- 事務局長 議事は終了。
以上で平成30年度第2回南伊豆町総合教育会議を閉会とする。

記事録署名人 岡部克仁

記事録署名人 不破好薫

記事録署名人 大野孝行